

中期経営計画 *AGC plus-2023* の進捗

The AGC logo is displayed in a white box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the 'A' and the 'G'.

AGC株式会社

2022年2月8日

Your Dreams, Our Challenge

- 構造改革、事業拡大によるコア事業の収益拡大、戦略事業の伸長で、2023年中期経営目標を大幅に前倒し達成
- 2023年目標を大幅に上方修正

	FY2021実績	FY2023目標 2021.2時点	FY2023目標 (今回)
営業利益	2,062億円	1,600億円	2,300億円
ROE	10%	8%	10%
戦略事業 営業利益	538億円	700億円	800億円
D/E比率	0.41	0.5以下	0.5以下

	事業	主要課題	方向性
戦略事業	エレクトロニクス	<ul style="list-style-type: none"> ・EUVマスクブランクスを始めとする高付加価値製品の拡大 ・継続的に新ビジネスを創出 	成長を更に加速
	ライフサイエンス	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムリーな投資の実施により、事業を拡大 ・グローバル展開・技術対応力を強みに高い成長を 	
	モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・CASEによる市場変化を見据え、事業機会を確実に捉える ・中国で車載ディスプレイ用ガラス量産を開始し、収益貢献 	
コア事業	ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> ・中国市場の需要増に対応、長期安定的な事業基盤を構築 	前中計で設定した基本戦略に変更なし
	クロールアルカリ・ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> ・タイ、インドネシアでの増設を通じ、東南アジアの事業基盤を一段と強化 	
	フッ素 ・スペシャリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・高付加価値化と事業領域拡大で、グローバルニッチ市場の需要取り込み ・環境課題を事業機会に変える 	構造改革を加速
	建築用ガラス 自動車用ガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・業界再編を見据え構造改革を実施 ・投資を最小化、生産集約などにより資産効率を高める ・生産性改善とコスト削減を着実に進め、収益性を改善、キャッシュ創出力を強化 	

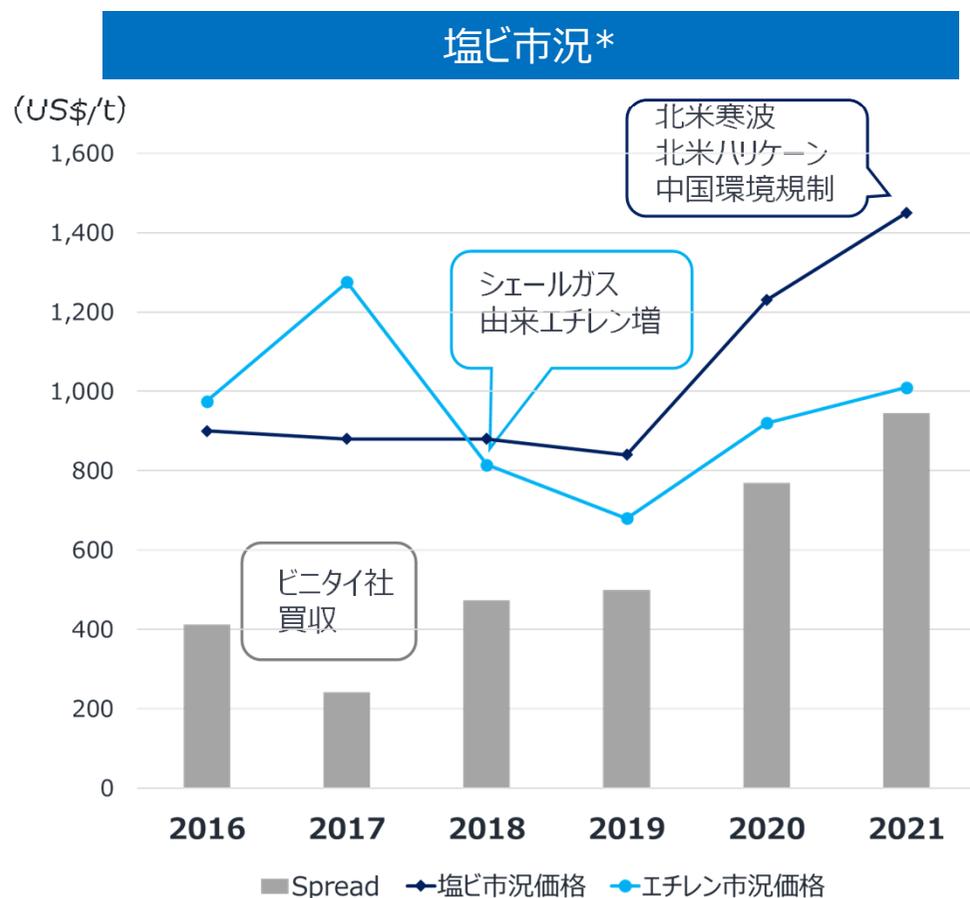
ガラス事業の構造改革の進捗

- 当初予定の固定費等の削減150億円は計画通り達成する見通し
- 更なる構造改革の推進により収益改善を図る

	2020-2021年	2022-2023年
建築用ガラス	<p><固定費削減></p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧州本社での人員削減（含む早期退職） ・フランスで1窯閉鎖 <p><構造改革></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北米建築用ガラス事業を譲渡 ・Schott Gemtron社の全株式を譲渡 	<ul style="list-style-type: none"> ・業界再編を見据えた構造改革を実施 ・生産性改善、固定費削減による徹底的なコストダウンを実施
自動車用ガラス	<p><固定費削減></p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧州本社、チェコ工場で人員削減 ・高効率設備の投入による生産集約（一部ラインの削減を実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率設備の投入によりライン数を削減し、生産集約を推進
コスト削減額	約120億円/年（2019年対比）	30億円 + α

クローラルカリ事業 塩ビ市況の状況

- 21年は北米寒波・ハリケーン・中国環境規制強化の影響で、塩ビの需給は著しくタイト化
- 22年以降塩ビの市況は徐々に軟化する見込みだが、東南アジアの需給はタイトな状況が継続する見通し



中国の環境関連目標

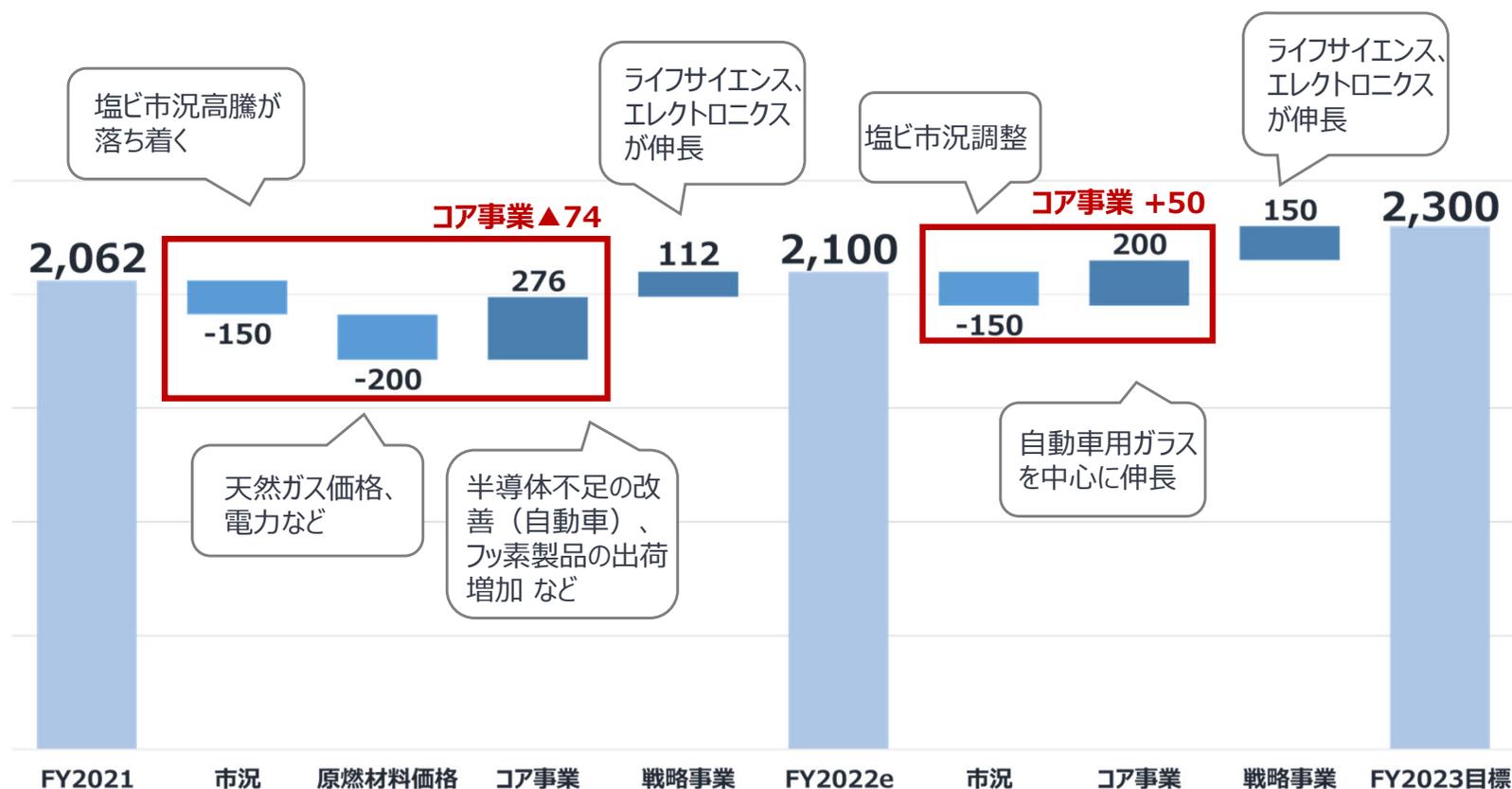
- 21年 GDP単位当たり消費約3%削減**
- 25年 非石化エネルギー比率20%***
- 30年 CO₂排出量ピークアウト
- 30年 GDP単位当たり消費65%以上削減
- 30年 非石化エネルギー比率25%
- 60年 カーボンネットゼロ

** : 2005年比

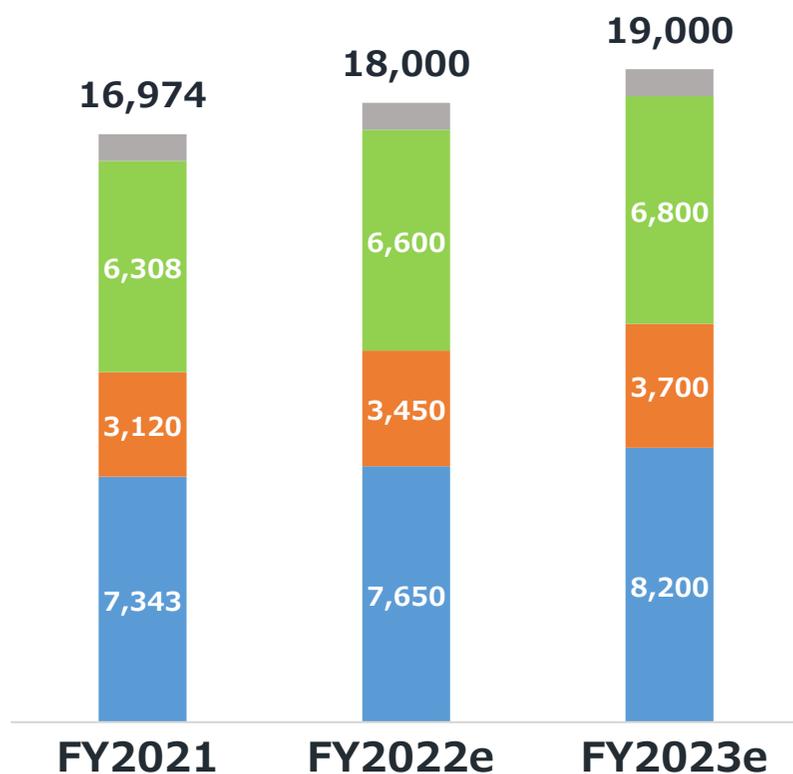
***: 一次エネルギー消費に占める比率

- 塩ビ市況下落の影響を受けるものの、戦略事業、コア事業ともに伸長

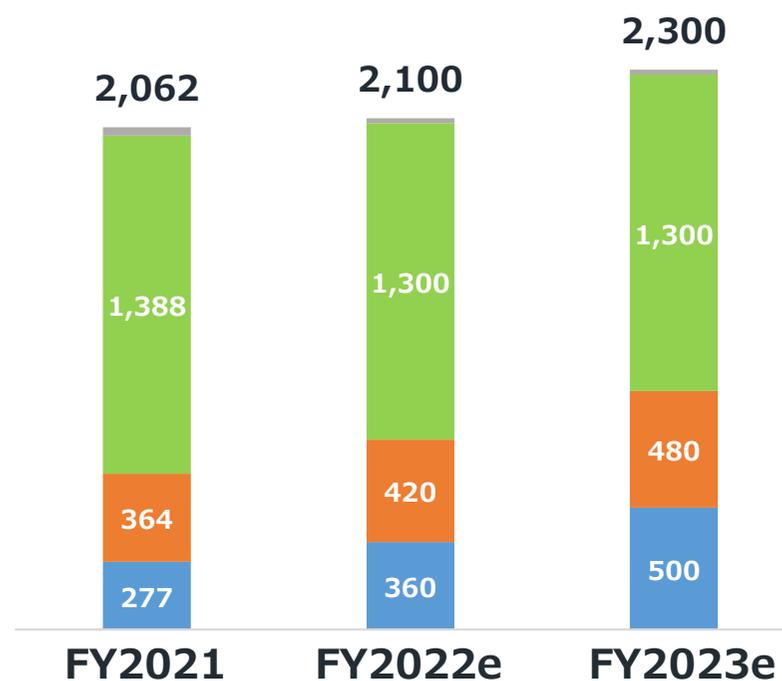
FY2021~2023営業利益推移 (億円)



売上高 (億円)



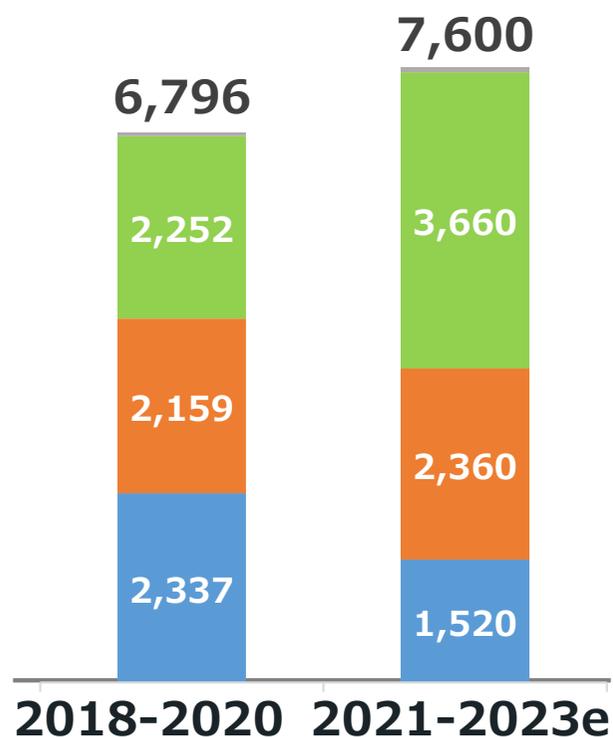
営業利益 (億円)



■ ガラス ■ 電子 ■ 化学品 ■ セラミックス・その他

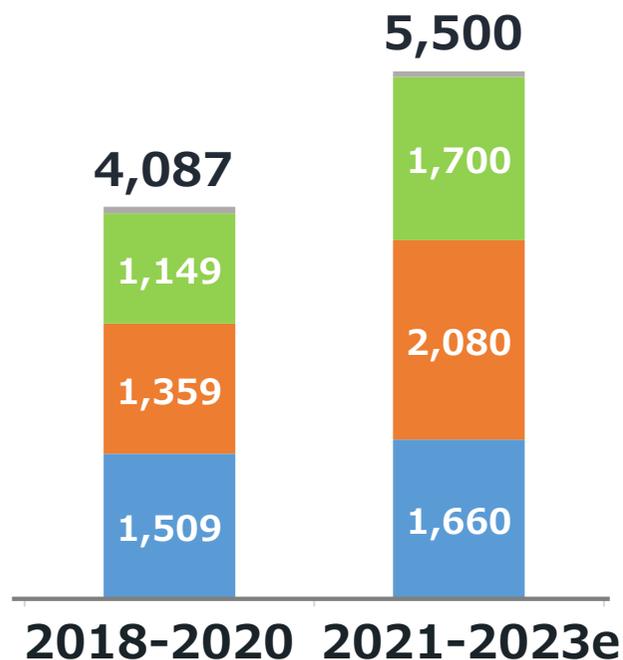
設備投資

(単位：億円)



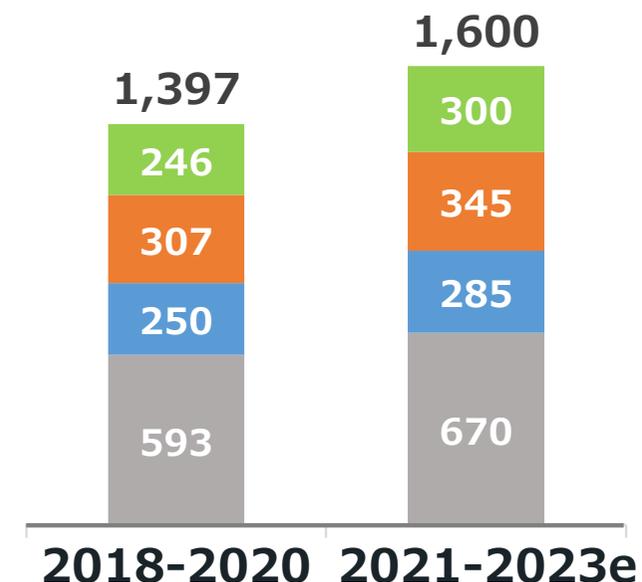
減価償却費

(単位：億円)



研究開発費

(単位：億円)

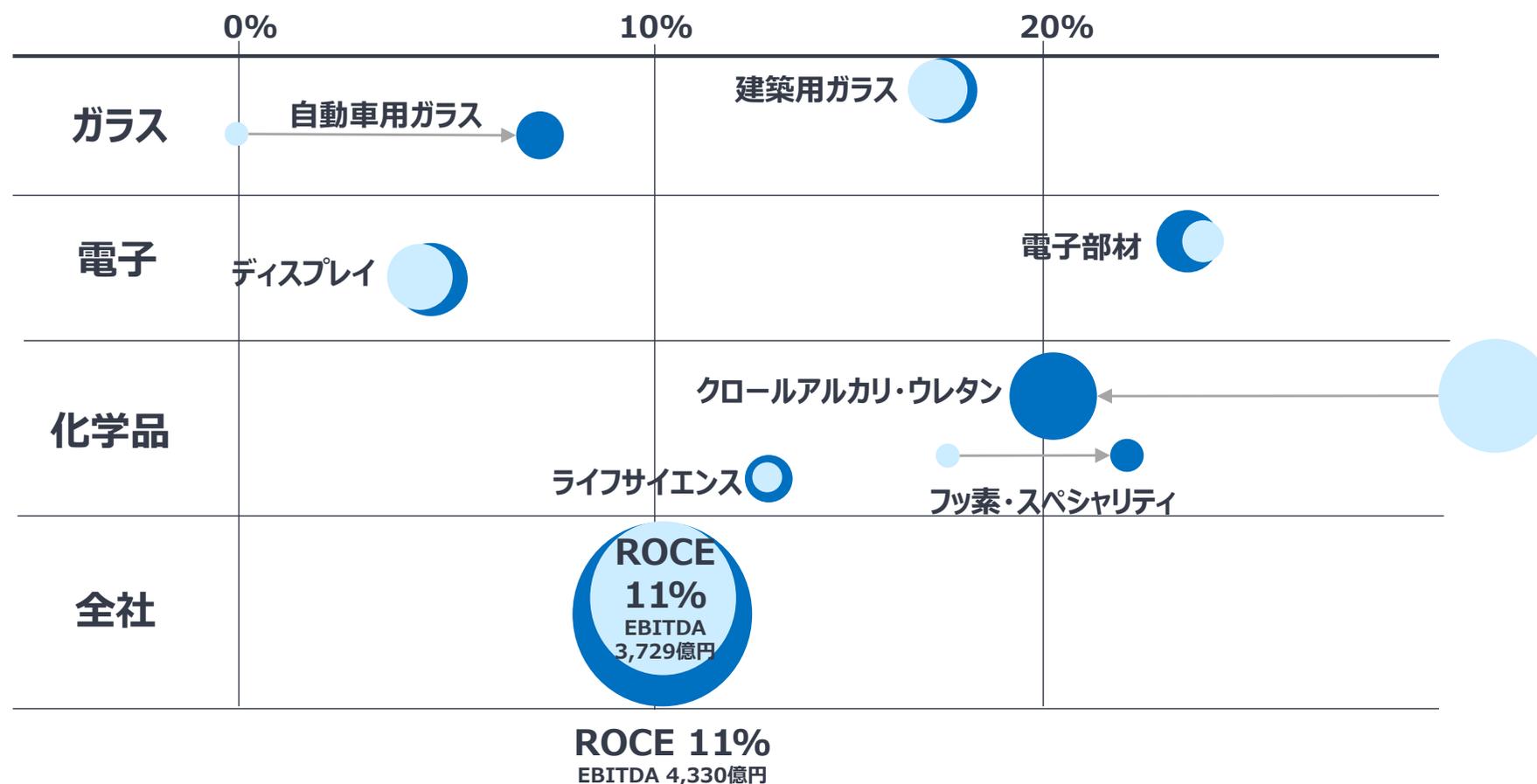


■ ガラス
 ■ 電子
 ■ 化学品
 ■ セラミックス・その他 (コーポレート)

各事業のROCEイメージ

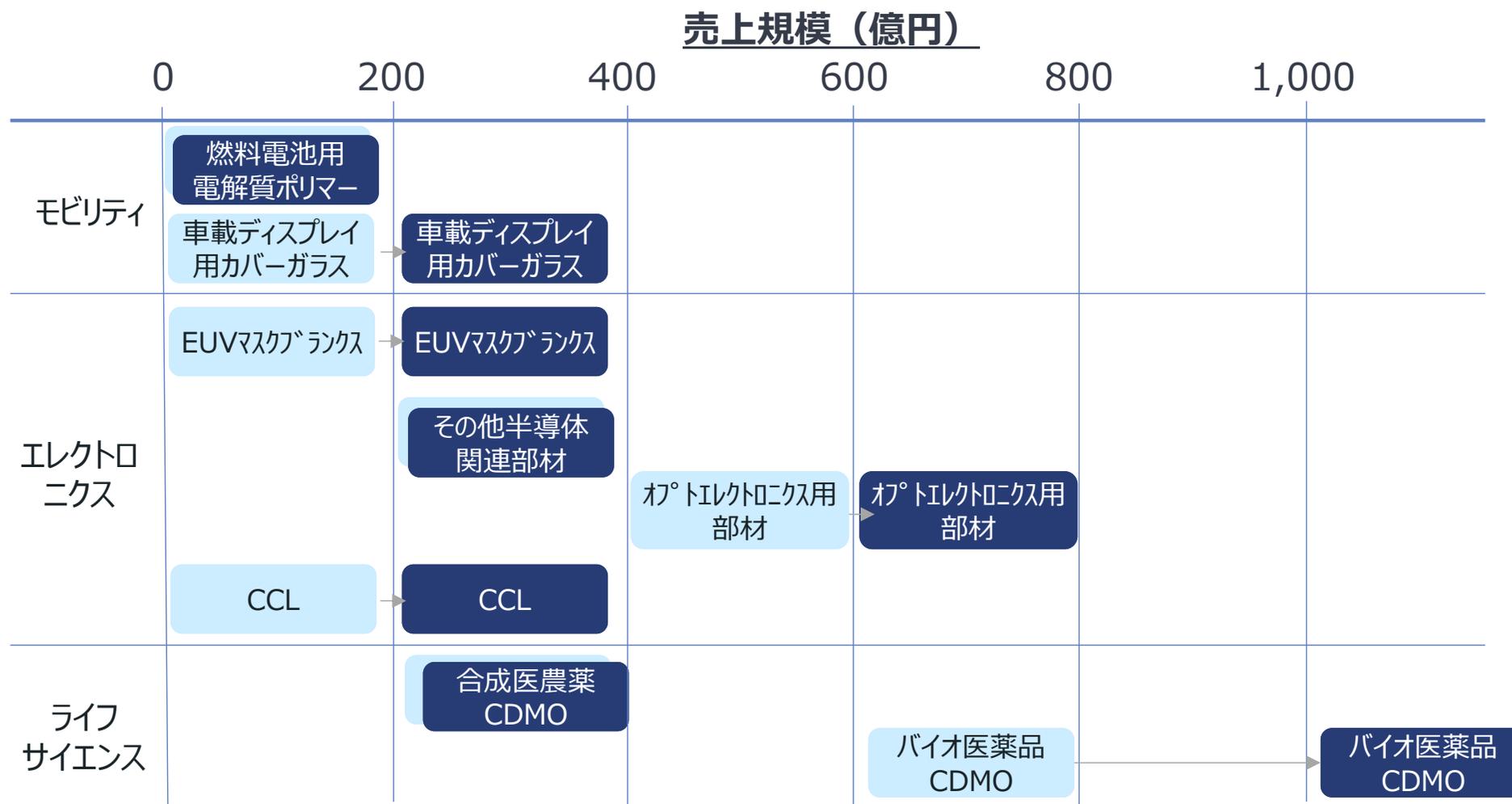
- 全社ROCEを10%以上に維持
- EBITDA*を約600億円（3,729億円→4,330億円）向上

ROCE(2021年実績 ● vs 2023年度見込み ●)



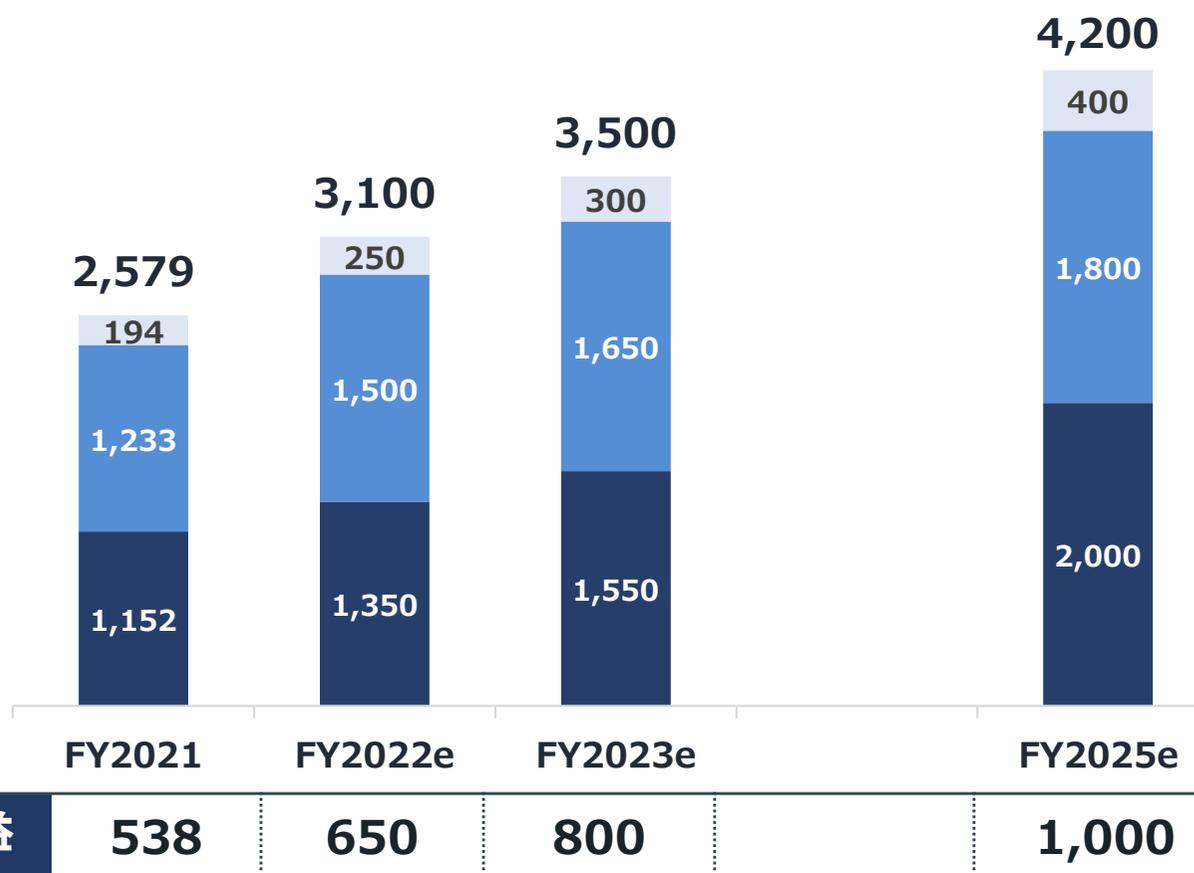
戦略事業 各製品群の売上高見通し

- いずれの事業も順調に売上規模を拡大
- とりわけバイオ医薬品CDMOが大幅成長



■ 順調に業績拡大する見通し

戦略事業売上高推移 (億円)



主な製品・事業

モビリティ

- ・車載ディスプレイ用
カバーガラス
- ・モビリティ新規部材
(含5G通信)

エレクトロニクス

- ・半導体関連部材
- ・オプトエレクトロニクス用部材
- ・次世代高速通信用部材
- ・エレクトロニクス用フッ素製品

ライフサイエンス

- ・合成医薬CDMO
- ・バイオ医薬品CDMO

(億円)

キャピタルアロケーション方針

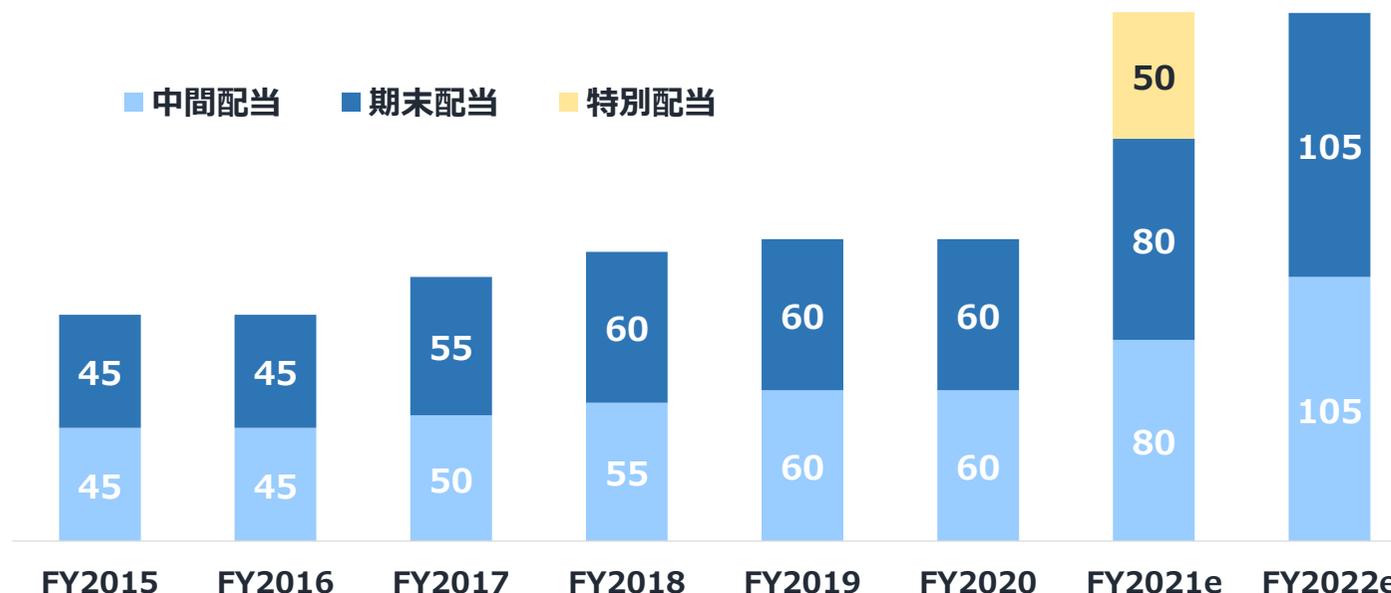
- 前中計期間比で戦略事業向け投資を1,000億円増やす
- 資産売却を加速、政策保有株式は全銘柄を縮減対象とする



*:非支配持分株主への配当金の支払額を含む

- 株主還元を着実に実施
- 財務健全性を維持、成長事業への投資機会を確保しつつ、機動的に自社株取得を実施する方針

1株当たり配当金額推移（円）



連結配当性向	48%	44%	35%	29%	60%	81%	38%	40%
自社株取得 (億円)	—	100	150	200	—	—	—	未定
連結総還元性向	48%	65%	56%	51%	60%	81%	38%	40%

株主還元方針

総還元性向50%以上

安定的に連結配当性向40%、
機動的に自社株取得

付属資料

リスク要因	営業利益に対するインパクト	予想数値 前提	補足
ドバイ原油	1バレルあたり1ドル上昇した場合、 2.6億円* 減益	80USD	*オイルヘッジ影響除く
化学品 市況	①苛性ソーダ: 国際市況が\$ 1 下がると\$ 1 M の減益 ②塩ビスプレッド: \$ 1 下がると\$ 1.2M の減益*	—	*塩ビスプレッド: 塩ビ市況－ (エチレン市況×0.5)
為替	1%円高で 7億円* 減益	1USD =115円	*JPYに対して全ての通貨が同 じ割合で動いた場合の影響額

AGC plus-2023 主要な投資案件と効果発現のタイミング

	2020	2021	2022	2023	2024~
ガラス				中国：車載ディスプレイ用カバーガラス拠点新設	
電子		中国：第11世代TFT液晶用ガラス基板用の窯を移設		中国：第11世代用のTFT液晶用ガラス生産能力を増強	
				日本：EUVマスクブランクス供給体制を大幅増強	
					日本：EUVマスクブランクスの生産能力を倍増
化学品			インドネシア：塩ビ製品能力増強		
					タイ：クロール・アルカリの電解能力増強
			日本：フッ素製品能力増強		
			アメリカ(シアトル)：バイオ医薬品生産能力を増強		
			アメリカ(ボルダー)：AstraZeneca社が保有するバイオ医薬品原薬製造工場を買収		
					デンマーク：バイオ医薬品生産能力を増強
			イタリア：遺伝子・細胞治療薬を開発しているMolecular Medicine S.p.A社を買収		
				イタリア：遺伝子・細胞治療CDMOの培養能力を増強	
				アメリカ(ロングモント)：遺伝子治療薬工場を買収	
					ドイツ：mRNA生産設備を新設
				スペイン：合成医薬品生産拠点の設備増強	
				日本：合成医薬品製造能力増強	

※上記は発表済案件のみ



Your Dreams, Our Challenge

END

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。